平成２８年度　第１回新庄市地域公共交通会議　会議録

日　時　平成２９年１月１９日

午後３時～４時２０分

場　所　新庄市役所　３階　第１会議室

　参加委員数は１４名であり、定員１５名に対し、過半数以上の出席があったため、会議成立。

1. 開会
2. 挨拶（新庄市地域公共交通会議　会長　副市長　伊藤元昭）
3. 報告

平成２８年度　新庄市営バスの運行状況について

　新庄市市営バスの運行状況や利用実績などについて報告する。

1. 協議（○委員発言、●事務局発言）

（１）山交バス路線（県立病院～肘折線）の廃止に係る協議について

　当該バス路線については、利用者の減少から廃止することとし、本市における対応策として、大蔵村と協議の上、現在のバス路線と同様のルートで、大蔵村営バスを新庄市へ乗り入れし、新庄市民も乗車できるようにすることを説明し、了承された。

なお、当該案系については、本会議が山形県バス対策協議会最上地区協議会（関係市町村による分科会）を兼ねるものとして協議を行った。

（２）市営バス（県立病院～土内線）の運行経路等の変更に係る協議について

当該バス路線について、利用者ニーズを考慮し、運行経路、運賃、ダイヤを変更したい旨を説明した。

○バス停の設置に関し、新設や変更箇所だけに限らない質問となるが、冬期間の安全対策はどうなっているのか。バス停設置場所では、乗降スペースが確保されるように除雪が行われているのか。

●バス停付近だけで特に削るような除雪は行われていない。しかし、新設、変更地点において、道幅の広い場所での乗降を行っているため、安全面の問題は無いと思われる。なお、他のバス停も併せて、冬期間の状況を確認の上、危険個所は是正していきたい。

　上記の質疑応答の後、変更内容について了承された。

1. その他

・平成２９年度　地域公共交通網形成計画の策定について

地域公共交通のマスタープランとなる地域公共交通網形成計画を、国の補助をいただきながら、来年度の策定を進めていきたい。

　その策定主体として、法律で定める活性化協議会の設置が必要である。その活性化協議会は、新庄市地域公共交通会議の構成員を増やし、役割を担っていただきたい。

・高齢者の免許返納を促す施策について

○高齢者の運転事故などが問題となっており、免許返納を促す取組を自治体でも進めていただきたい。他自治体では、免許返納者に対し、バス割引券や商品券などを配布している。新庄市としては、何か予定しているのか。

●来年度実施することは考えていないが、地域公共交通網形成計画の策定に合わせて、考えていきたい。

○山形県ハイヤー協会の最上地区では、最上地域内全てのタクシー会社で免許返納者は１割引きで乗れるように、制度を創設した。免許返納者の為の取組を、最上地域８市町村で連携して取り組んでいただきたい。